

人と地球に優しい住環境を創ることで社会に貢献

# AQUA REPORT

第19期 | 2022年12月期 中間  
(証券コード:1429)

キーワードで見る  
日本アクア

No.1 シェア  
現場発泡断熱材  
アクアフォーム®  
シリーズ

原料開発から  
施工・施工後の  
検査・確認、そして  
リサイクルまで

全国

施工実績累計

451,600棟

※ 2022年度中間期末時点

0  
ゼロ

地球に優しい  
断熱材  
フロンガス  
ゼロ

自社で  
一括管理

## ●●● AQUA の技術 ●●●



アクアフォーム® 紹介ページ

日本アクアを支える「アクアフォーム®」は、温室効果の大きいフロンガスを使わず、水を使って現場で発泡させる断熱材です。

水を含むポリオールとイソシアネートを混合することで発生する炭酸ガスを発泡剤として使用する、人と地球に優しい硬質ウレタンフォーム素材となっております。

詳細は web でご確認ください。 >>> <https://www.n-aqua.jp/products/aquaform/>



アクアフォーム® のムービー



スマートフォンでも  
ご覧いただけます。



# 日本アクアの製品をご紹介します!



**アクアモエン NEO®**  
断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム



**アクアハジクン®**  
建築物吹付け防水システム



**アクアフォーム®NEO**  
環境性能と熱伝導率を両立



**アクアAフォーム**  
環境性能に優れた汎用タイプ



**冷凍冷蔵倉庫用 AQ700**  
断熱性、耐水性、耐薬品性



**アクアフォーム®**  
木造戸建の高気密断熱材



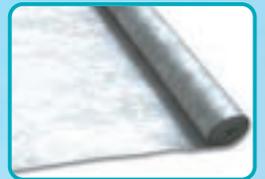
**アクアフォーム®NEO+TP**  
防蟻処理済みアクアフォーム®



**アクアEーシリーズ**  
屋根用通気・遮熱



**アクアスルーシリーズ**  
棟換気・軒換気



**アクアウォールシリーズ**  
外壁の遮熱・防水



**換気システム**  
排気型集中換気システム



**アクアパッキン**  
木造戸建基礎用気密パッキン



**アクアフォーム® 1液性  
ハンドタイプ**  
あらゆる断熱施工の補助製品



**アクアタイトシリーズ**  
床根太・床仕上げ接着剤



**アクアショット**  
簡易型2液混合スプレーシステム

## 日本アクア SDGs 宣言

Reduce CO<sub>2</sub>, End Climate Change



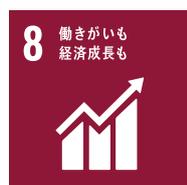
日本アクアは、「人と地球に優しい住環境を創ることで社会に貢献」という経営理念のもと、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」に貢献します。アクアフォーム®は、住む人の健康・快適な暮らしを先ず最優先に担保したうえで、住宅が排出するCO<sub>2</sub>を削減し、地球に優しい省エネルギー住宅を創ります。



**3** すべての人に健康と福祉を



**7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに



**8** 働きがいも経済成長も



**11** 住み続けられるまちづくりを



**12** つくる責任つかう責任



**13** 気候変動に具体的な対策を

## 断熱性能を義務化する「建築物省エネ法」改正法が成立 脱炭素社会の実現に向け、さらなる事業の拡大を目指します。

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期累計期間（2022年1月1日から2022年6月30日まで）は、持家の新築住宅着工戸数が弱含む中、ウレタン原料調達価格の上昇が重なり、非常に厳しい経営環境で推移いたしました。しかしながら、当社は、省エネ住宅への各種補助金制度の本格実施や、建築物の火災事故防止意識の高まりを好機と捉え、高気密・高断熱性能を有する「アクアフォームシリーズ」の商品力と全国施工ネットワークを有する強みを活用し、積極的な受注活動を展開してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、11,742百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は916百万円（同176.1%増）、経常利益は936百万円（同179.1%増）、四半期純利益は626百万円（同193.4%増）となり、それぞれ過去最高を更新することができました。なお、部門別の売上高は、戸建部門が6,695百万円（前年同期比4.4%増）、建築物部門が2,837百万円（同22.3%増）、防水部門が120百万円（同329.0%増）、その他部門が2,087百万円（同7.0%増）となりました。

また、2022年6月13日に「建築物省エネ法」改正法が成立し、海外と比べて規制が緩かった住宅・建築物の断熱性能が義務化されます。具体的にはすべての新築住宅・建築物に省エネ基準「断熱等性能等級4」の適合を義務付け、2025年以降はこれを下回る建物は新たに建てられなくなります。これは、まさに当社の主力商品「アクアフォームシリーズ」の商品性に合致したものであり、2050年のカーボンニュートラルに向けた住宅・建築物の脱炭素化の潮流を捉え、さらなる事業の拡大を目指してまいります。

株主のみなさまには、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長

中村 文隆

### 決算ハイライト

売上高	11,742	百万円
営業利益	916	百万円
経常利益	936	百万円
四半期純利益	626	百万円

### プライム市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画

2021年12月20日公表

#### 具体的な取組み

企業価値を向上させるとともに、サステナビリティへの貢献を図り、もって株式市場で適正な評価を得ることが課題と捉えております。課題を解決するために、以下の取組みを実施してまいります。

- (1) 高気密・高断熱性能のアクアフォーム®で住まいの省エネルギー化(脱炭素)を促進
- (2) IRの強化等
- (3) 株主還元の拡充

#### 数値計画 2023年12月期

売上高	291	億円
営業利益	28	億円
配当金	30	円

## TOPICS ●●●

人気YouTuber

ラファエルが  
日本アクアに  
体験入社!!



[https://youtu.be/kk0mSEHDY\\_o](https://youtu.be/kk0mSEHDY_o)

見どころ

### ラファエルがアクアフォーム吹付に挑戦



人気YouTuberのラファエルさんが日本アクアに体験入社し、東京・品川本社に出社する様子や、当社ラボ（テクニカルセンター）で新製品アクアハジクンのテストを行う姿、先輩社員に同行して実際の建築現場でアクアフォームの吹付工事に挑戦する姿が取り上げられています。

(2022年6月30日)

商号 株式会社日本アクア  
 英文社名 Nippon Aqua Co.,Ltd.  
 代表取締役 中村 文隆  
 本社 〒108-0075  
 東京都港区港南2-16-2 太陽生命品川ビル20F  
 TEL: 03-5463-1117 FAX: 03-5463-1118  
 設立年月日 2004年11月29日  
 資本金 19億3百万円  
 事業内容 建築断熱用硬質ウレタンフォーム「アクアフォーム」販売・施工  
 住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売  
 従業員数 416人(単体)

代表取締役 中村 文隆  
 専務取締役 村上 友香  
 取締役 永田 和久  
 社外取締役 土谷 忠彦  
 社外取締役 杉田 由貴  
 社外取締役 樋口 尚文  
 社外監査役 玉神 順一  
 社外監査役 中西 勇助  
 社外監査役 仁科 秀隆  
 社外監査役 近藤 弘

ホームページのご紹介

<https://www.n-aqua.jp>

または、日本アクア 検索  
 スマートフォンからもご確認いただけます。

English IR



英文 IR サイトをリニューアルしました。



IR サイト ● 英文

<https://www.n-aqua.jp/ir-en/>

● 和文

<https://www.n-aqua.jp/ir/>

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
 基準日 毎年12月31日  
 定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 TEL.0120-232-711(通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 公告方法 当会社の公告は、電子公告により行います。  
<https://www.n-aqua.jp/>  
 但し、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。